

同窓会報

同窓会長挨拶



同窓会長
西山 直司

同窓会会員の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃は同窓会活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度になります。1月に和牛甲子園での日本一を受賞した事は、いい意味で大変驚きでした。3月には、「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」のGAP部門で農林水産大臣賞を受賞しました。今年度では、6月にはプロジェクト発表大会最優秀、8月には農業情報処理競技会11連覇など農業高校として大変名譽な結果を残しております。体育会系でも卓球では東海大会出場を果たしております。母校の榮譽は、同窓生として大変嬉しい事です。在校生の方々、先生方に厚く御礼申し上げます。また9月に完成した、規格外トマトと黒豚を使用した渥美農高ブランドのカレーは、皆さんも是非ご賞味下さい。

今年もコロナ禍は、学校活動に少なからず影響を与えております。同窓会の活動も制限を受け思うような事が出来ずにあります。50周年記念事業の一環で始まったオランダ王国・ウエラントカレッジとの姉妹校派遣事業は、今年についても断念せざるを得なくなりました。また姉妹校であるウエラントカレッジの合併があり、連絡が取れない状況となっており、With Covid19の時代になっても再開が難しい状況となっております。今後鋭意調査は続けて参りますが、あり方を再検討する時期が来てい



発行 令和4年12月20日
愛知県立渥美農業高等学校同窓会事務局

TEL 053 1122 10406
FAX 053 1122 16462

るのかと思っております。同窓会会員の皆様のお力、お知恵をお貸し頂き、何らかの事業が実施できればと思っております。

同窓会運営につきましては、同窓会会員も1万有余名を数えるまでになり、今後は、どのような運営方法が望ましいか、検討をしていきたいと考えております。できるだけ多くの同窓会会員に参加して頂ける仕組みを作りたいと思っております。その折には、面倒がらず是非協力賜ればと衷心よりお願い申し上げます。

また、近年の少子化は、地元の小学生の数で実感しております。高校についても少子化の影響は大きなものがあります。その中で、外から人を呼び込むためにも渥美農高の果たす役割は益々大きくなっていくと感じます。今後の農業の魅力発信し、優れた農業者を送り出すことが、ますます求められていると思っております。その為にも特に農業に関係する同窓会生の方々には、今後物心両面での協力をお願いしていく機会もあるかと思っております。どうかよろしくお願い致します。最後に渥美農高の彌榮を祈念して、挨拶とさせていただきます。

校長挨拶

新しいことにチャレンジ



校長
鈴木 修市

同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

創立以来、脈々たる伝統を受け継ぎながら、多くの地域農業の後継者と地域産業の担い手を育成し、本年度創立72年を迎えることができました。これも、母校の教育活動にご理解と多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ございます。心より感謝申し上げます。

さて、現在も新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない状況ではありますが、生徒たちは、今までの先輩たちが遺してくれた伝統を継承しながら、校歌にある「求学の道たゆみなく 鍛える庭に喜びと 心に燃ゆる理想あり あすの光をめざしつ」共に励まん農の道」という歌詞のとおり、自らの目標にむかって、可能性を高めるべく、日々の学習活動、特別活動、部活動等に意欲的、主体的に取り組む、充実した学校生活を送っております。本年度も、昨年度の引き続き、愛知県教育委員会の支援を受け、新たな農業経営にチャレンジできる後継者の育成を目指し『あつみ次世代農業創出プロジェクト』（令和2年からの5年間プロジェクト）に取り組んでいるところです。この中で、昨年度は地域の関係機関の多大なる協力もあり、和牛甲子園での最優秀賞、「農林水産省 未来につながる持続可能な農業推進コンクール（GAP部門）」において農林水産大臣賞ということができました。このように、本校は次々と新しいことにチャレンジをしております。本校の伝統と使命を大切に継承しつつ、時代の変化や社会の要請にアンテナを張って、社会が求める人材育成に向けた挑戦を続けているところです。私たち教職員は、「農高」だからできること、「農高」でしかできないことを追求しながら、生徒たちのチャレンジを応援していきたいと考えています。生徒が新しいことにチャレンジするためには、そのための勇氣と意欲を奮い起こすことができる環境が必要です。生徒の保護者や私たち教職員に加えて、母校の後輩たちの健やかな成長を願う同窓生の皆様の温かな思いが、そのような環境づくりにつながるのではないかと思います。

今後とも、校章「働蜂」に込められた校訓である「聡明なる勤勞」（単なる労働ではなく、身に付けた知識・技術に裏付けされた理解力と判断力を活用し、地域社会へ貢献できる人間性溢れる働きができる）のもと、教職員が一丸となって教育活動の充実をはかり、地域に信頼され、愛される学校として、地域の農業、その他の産業、自治文化・スポーツの進行に寄与できる人材の育成に努めていきたいと思っております。

おわりになりますが、本校同窓会の益々の発展と会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念しますと同時に、これからも母校の教育活動への物心両面からのさらなるご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

活躍する部活動

果樹部 3年B組 湖口創太

果樹部は、3年生9名、2年生3名の計12名で活動しています。青パイアの栽培管理や販売、ヒマワリの植栽などを行っています。果樹部は今年からできた部活で、最初は3年生のみで活動していました。活動内容も、やること全てがはじめてでした。1番はじめに行った行事は「ヒマワリを見ようの会」で、果樹園の休耕田に植えたヒマワリを校内外の人に見てもらおう行事でした。部員で何度も話し合いをして、どうしたら来てくれた人が楽しんでくれるか考えました。その結果、夏休みに皆で残って作業をし、アーチや看板を作り、ヒマワリと合わせた記念撮影ができるようにしたり、ミニゲームを作成してヒマワリ畑で体験的に楽しめるようにしたりしました。当日、見に来てくれた人たちに喜んでもらうことができました。私たちはやりがいを感じるようになりました。

「ヒマワリを見ようの会」と並行しながら、青パイアの栽培と、果実の普及活動を行いました。栽培しながら、週に1回青パイアの茎の太さや背の高さ、葉柄からの長さを測定しました。根気のいる作業でしたが、日に日に大きくなる青パイアを見て徐々に愛着がわくのを感じました。小さかった青パイアは今では私の身長よりも高く成長し、多くの実を実らせています。その実を使い、おいしく料理ができるようなレシピ本を作成しました。男子が多い果樹部には、料理ができる人は少なく、とても効率が悪くなってしまいがちで大変でした。料理は得意ではないけど、青パイアを切るのがうまくなるくらい多くの果実を調理しました。

完成したレシピ本を、青パイアを購入してくれた方々に渡しました。最初は、「どうやって料理するか分からない」と言われ、なかなか買ってくれませんでした。ですが、だんだんレシピ本を通して興味をもってってくれて、販売会で完売になることが多くなりました。

果樹部はまだ創設が浅く、色々な人の協力のおかげで

成り立っています。他の部活動の人や先生が作業を手伝ってくれたり、アドバイスをもらったりして、何度も助けられました。果樹部は、他の部活にはない、人との助け合いを感じる部活だと思っています。「応援してくれる人がいるから、その期待に応えていきたい。」私たちは今後も精一杯頑張っていきたいと思っています。



動物科学部

昨年度、動物科学部では和牛甲子園最優秀賞や、愛知県初のJGAP認証取得を始めとする、輝かしい成果を残すことができました。昨年度の成果に負けないよう、今年度は活動の幅をさらに広げ、和牛甲子園、全国和牛能力共進会、JGAP認証継続審査(豚)、肉用牛、自給飼料生産工程)や、「黒豚とトマトのキーマカレー」完成・販売を実施してきました。特に、キーマカレーの完成・販売については、「広がる規格外トマトの可能性!」と題した取組みの中で、J愛知みなみトマト部会様との連携により、トマト産地である田原市で生じる規格外トマトを活用に取組んできました。「規格外トマトと、規格外トマトを食べて育った渥農産豚肉」という田原市ならではの強みを生かすため、昨年度からカレーの商品化を目指してきました。ついに今年度、その成果が実り、動物科学部が開発した初めての商品として、レトルトキ

マカレーを多くの方にお買い求めいただくことができました。加えてこの取組みは、SDGsに貢献する活動として評価をいただく機会も増え、畜産を通じたSDGsへの貢献や、地域振興につなげることができていると感じています。また、地域の方々に支えられながら、本校初となる全国和牛能力共進会への出場も果たし、参加した部員3名は、鹿児島の大舞台で貴重な経験することができました。昨年度日本一に輝いた和牛甲子園に向けて、年間を通じた活動を続けると共に、愛知県の和牛ブランド「みかわ牛」のPRに向けた活動を進めることで、令和5年1月に開催される「第6回和牛甲子園」での連覇を目指しています。

さて、動物科学部では、令和4年度のテーマを「地域とつながる」こととし、全ての活動において、愛知県内、東三河地域、田原市内のモノ・ヒトとの関わりを大切に活動してきました。学校のみならず、地域の中でも活躍の場を設けていただいていることから、動物科学部の活動ひとつひとつを、生徒だけの活動、学校だけの活動で終わらせたくありません。渥美農業高校を中心に、地域がひとつに繋がるきっかけ作りをすることで、農業地帯である田原市の農業をより一層盛り上げられるよう、地域の農業振興に貢献できる活動を今後も進めていきます。これからは部員、そして動物たちが一丸となって、日々躍進していきますので、今後の動物科学部にぜひご期待ください。



■陸上競技部

第38回東三河陸上競技選手権大会 6月4日・5日
豊橋市陸上競技場

男子 5000mW 優勝 2B 前田 優樹
4x400mリレー 4位
2B 鈴木 雅隆 2B 前田 優樹 2C 船水 優利
1A 堀江 勇斗
走幅跳 6位 3A 高橋 寛汰
円盤投 8位 2C 神谷 孝弘
やり投 8位 2B 早川 暢紀
女子 400m 6位 2D 浜田 萌花
円盤投 4位 3D 荒木 姫葉奈

令和4年度愛知県高等学校新人体育大会東三河予選会

9月3日・4日 豊橋陸上競技場
男子 800m 3位 2C 船水 優利
5000mW 優勝 2B 前田 優樹
4x400mリレー 5位
2B 鈴木 雅隆 2B 夏目 直英 2B 前田 優樹
2C 鈴木 治人 2C 船水 優利 1A 堀江 勇斗
砲丸投 3位 2C 神谷 孝弘
円盤投 2位 2C 神谷 孝弘
やり投 4位 2B 早川 暢紀
女子 円盤投 4位 2C 血井 りん
以上、県大会出場

■男子バレーボール部

令和4年度全日本バレーボール選手権大会東三河予選
男子 3位 県大会出場

■女子バレーボール部

令和4年度愛知県高等学校バレーボール選手権大会
東三河支部予選会
7月16日(土) 豊橋商業高校

1回戦 本校 0-2 豊橋商業

令和4年度第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会
東三河支部予選会 9月23日(金) 豊橋西高校

1回戦 本校 0-2 桜丘

■バスケットボール部

第76回愛知県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
東三河支部予選会

第1回戦

本校 58-56 小坂井

第2回戦

本校 51-89 時習館

2022 ALL AICHI CHAMPIONSHIP

2021東三河第一次トーナメント

第2回戦

本校 87-56 蒲郡

第3回戦

本校 53-139 豊川

5-8決定戦

本校 63-113 豊丘

■男子ソフトテニス部

令和4年度愛知県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技
東三河予選会

男子 個人戦 5位 2C 千葉悠矢・2B 武田昊土

：県大会出場

男子 団体戦 6位

：県大会出場

令和4年度 東三河ソフトテニス学年別大会

男子 2年生の部 5位 2C 千葉悠矢・2B 武田昊土

2A 菰田滋道・2C 小松佑樹

■女子ソフトテニス部

7月2日(土)

令和4年度国民体育大会ソフトテニス競技東三河予選会
出場 9月10日(土)

令和4年度全三河高等学校ソフトテニス競技東三河予選会
出場

■野球部

第104回全国高等学校野球選手権 愛知大会

7月9日(1回戦) 本校 21-2 修文学院

7月16日(2回戦) 本校 1-6 西尾

第75回愛知県高等学校野球選手権大会

9月10日(1回戦) 本校 3-2 日福大

9月17日(2回戦) 本校 3-4 国府

第147回 中日旗争奪全三河高校野球大会

10月15日(1回戦) 本校 8-6 西尾

10月22日(2回戦) 本校 1-11 桜丘

■剣道部

令和4年度東三河武徳祭剣道大会 6月5日(日)

高校一年男子の部 第3位 1B 鈴木 悠佑雅

第59回東三河剣道大会(豊川大会) 9月18日(日)

高校男子の部

渥美農業 2(本数4) | 2(本数5) 時習館

令和4年度東三河高等学校新人体育大会(個人) 11月12日(土)

ベスト16 1B 有留 天将

令和4年度東三河高等学校新人体育大会

(男子団体) 11月13日(日)

渥美農業 0-3 時習館

渥美農業 3-2 豊丘

■柔道部

令和4年7月31日

第38回東三河高等学校体育重別柔道大会

90kg級 1A 鋤柄隼人 第3位

■卓球部

第76回愛知県高等学校総合体育大会卓球競技東三河予選会

男子 学校対抗戦 5位 決定戦 ○本校3-0国府

○本校3-0新城有教館

男子 シングルス 13位 2B 小林文羽

ダブルス 7位 3B 小久保大和・2C 牧野友飛

女子 シングルス 14位 3B 田中凜華

ダブルス 7位 3B 田中凜華・3C 本田怜菜

※県大会出場

令和4年度国民体育大会卓球競技東三河予選会

男子 優勝 2C 牧野友飛 3位 2B 小林文羽

9位 2A 住吉純平

女子 ベスト16 3D 畑林鈴奈 推薦3B 田中凜華

※県大会出場

令和4年度東三河地区高等学校卓球選手権大会

男子 学校対抗戦 3位 同2部 3位

女子 学校対抗戦2部 優勝 シングルス

5位 2C 鈴木玲凪

令和4年度愛知県秋季卓球新人大会

一般男子 シングルス 優勝 2C 牧野友飛

第62回東海卓球選手権大会 男子ジュニアの部出場

※2B 小林文羽 2C 牧野友飛

令和4年度愛知県高等学校新人体育大会卓球競技東三河予選

男子団体3位

女子団体4位 ※男女共、県大会出場

■バドミントン部

令和4年度愛知県高等学校総合体育大会バドミントン競技

三河支部予選会(4月16日~4月30日)

男子(複) 3B 楠田吏玖・2B寺澤樟悟 2B小久保大翔

1C 大谷健人 ベスト32

(単) 2B寺澤樟悟 1C大谷健人 ベスト32

令和4年度愛知県高等学校総合体育大会バドミントン競技

男子Bトーナメント(5月22日)

(複) 2B小久保大翔・1C大谷健人 準優勝

第31回東三河バドミントン選手権大会(8月18日~8月20日)

男子(複) 3位 2A清田光流・2B寺澤樟悟

(単) 2位 2A清田光流 5位 2B寺澤樟悟

9位 2B小久保大翔

令和4年度愛知県高等学校新人体育大会バドミントン競技

三河支部予選会(9月10日~9月23日)

男子 団体 3位 県大会出場

(複) ベスト8 2B小久保大翔・1C大谷健人 県大会出場

2A清田光流・2B小久保大翔 県大会出場

(単) ベスト16 2A清田光流 2B寺澤樟悟

1C大谷健人 県大会出場

令和4年度愛知県高等学校新人体育大会バドミントン競技

(10月22日)

男子 団体 ベスト8

■吹奏楽部

令和4年11月13日

愛知県高等学校東三河地区演奏会

会場:豊川市文化会館

■パソコン部

日本情報処理検定協会主催 第36回全国パソコン技能競技大会

期日 8月5日

成績 情報処理競技 団体2位

食品科学科3年 大場 菜奈

食品科学科3年 河邊 湊斗

食品科学科3年 平岩 裕太

農業科2年 三津谷春都

施設園芸科2年 伊藤 旬哉

日本語スピード競技 佳良賞 農業科2年 広田 菜砂

■農業クラブ

6月14日

愛知県学校農業クラブ連盟 プロジェクト発表会分野Ⅱ類

【開発・保全・創造】

最優秀 動物科学部 水谷 考志 他3名

6月16日

愛知県学校農業クラブ連盟 プロジェクト発表会分野Ⅰ類

【生産・流通・経営】

優秀 GAP研修班 和田 幸之助 他3名

6月17日

愛知県学校農業クラブ連盟 プロジェクト発表会分野Ⅲ類

【ヒューマンサービス】

優秀 動物科学部 得丸 大心 他3名

7月8日

愛知県学校農業クラブ連盟 農業鑑定競技会

分野食品 優秀 平岩 裕太

分野食品 オブザーバーの部 最優秀 廣中 葵

7月21日

愛知県学校農業クラブ連盟 意見発表会

分野Ⅰ類【生産・流通・経営】 優秀 彦坂 優

8月2日

東海ブロック学校農業クラブ連盟 プロジェクト発表会分野Ⅱ類

【開発・保全・創造】

優秀 動物科学部 水谷 考志 他2名

8月26日

愛知県学校農業クラブ連盟 農業情報処理競技会

最優秀 伊藤 旬哉

優秀 河邊 湊斗

優秀 三津谷 春都

10月27日

日本学校農業クラブ連盟全国大会 令和4年度北陸大会

農業鑑定競技会

分野園芸 優秀 和田 幸之助

分野食品 優秀 平岩 裕太